

R 6 薬用作物産地支援 栽培技術研修（オンライン研修）（案）

研修実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講人数： 約50名

研修会場： オンライン開催

実施時期： 1月29日（水）

	時間	演題	内容	講師	所属
1月29日	13:00-13:05	開会	注意事項等	事務局	
	13:05-13:55 (50分)	【講義】 臨床から考える生薬の重要性と課題について（仮題）	生薬としての薬用作物の重要性と課題、国内生産の必要性等について理解するとともに、国内生産支援の取組を紹介する。	川添 和義	昭和大学大学院薬学研究科教授（薬用植物園園長）
	13:55-14:45 (50分)	【講義】 薬用作物の国内生産振興について（仮題）	薬用作物の国内生産振興に向けた活動と課題、現地での栽培指導の取組等について紹介する。（カンゾウ等）	芝野 真喜雄	大阪医科薬科大学薬学部教授
	14:45-14:55	休憩			
	14:55-15:45 (50分)	【講義】 薬用作物の産地化の取組について（仮題）	薬用作物の国内生産振興に向けた活動と課題、八峰町・杵築市における産地化の取組等について紹介する。（キキョウ）	山上 勉	東京生薬協会
	15:45-16:35 (50分)	【講義】 薬用作物の栽培と薬産協の支援について（仮題）	薬産協における国内生産の支援体制について紹介するとともに、薬用作物の栽培について理解を深める。（カノコソウ、シャクヤク）	兀下 敏幸	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
	16:35-16:55 (20分)	質疑応答		オンラインで質問を受け、講師に回答してもらう	
	16:55-17:00	閉会	閉会		